

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 5 多様な暮らしが選べ、快適に暮らせるまちに
重 点 的 取 組 2 多様な地域特性を生かした交流・定住を進める

担当課名	分権政策部 シティプロモーション室			
予 算	会 計	01	一般会計	
算 款		02	総務費	
科 項		01	総務管理費	
目 目		06	企画費	

事業名	定住推進事業	事業開始年度	平成 19 年度
	空き家バンク等	根拠法令 条例 個別計画 等	過疎地域自立促進計画、地域支援員推進事業 実施要綱・要領、空き家バンク制度設置要 綱、空き家改修補助金交付要綱

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	人口が急速に減少する地域に居住する市民及び当該地域での交流や移住を希望する人	・人口が減少しても居住の持続性と地域の維持が図られている ・地域住民が主体的に地域おこしの取組みを行うことにより、地域内外の交流が拡大している

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	地域支援員、団地・過疎地域等の住民、県、広島県宅地建物取引業協会	・定住推進に向けた情報を地域住民に積極的に発信し、共有する。 ・各地域の実態を現場起点・対話主義により、正確に把握する。 ・地域特性に応じた定住推進への取組みを企画・立案する。

3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

実施した事業の内容（活動実績）

○空き家バンク制度

市に移住（定住）したい人に市内の空き家の情報を紹介するシステム。

・居住希望登録者数（平成26年度末）5 2 人

・空き家バンク成約件数 平成25年度： 2 件

・空き家登録公開物件数（平成26年度末）1 件

平成26年度： 4 件

○交流・定住人口拡大に向けた各種取組み

(1) 定住相談件数： H24年度：36件、H25年度：38件、H26年度：18件

(2) 定住フェアへの参加（広島県交流・定住促進協議会）

・ひろしま定住フェア（東京） H26.7.19 相談件数： 1 5 件 H27.1.10 相談件数： 6 件

・朝日UIターン説明会（大阪） H26.9.7 相談件数： 8 件

・中国四国もうひとつのふるさと探しフェア（大阪） H26.11.8 相談件数： 4 件

【歳出】 事務費（旅費・負担金等）

260,050円

※平成26年度決算は、平成27年度での担当である地域政策課と分割した。

（地域政策課決算額8,806,283円）

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越
財源内訳	直接事業費 A	5,335,622	260,050		
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）	600,000			
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	4,735,622	260,050		
	人件費(按分) B	0.10 人 848,600	0.90 人 7,716,600		
	総事業費(A+B)	6,184,222	7,976,650		
単位換算	① 人口（4月1日現在）	117,680 人	117,182 人		
	市民1人当たり	53	68		
②					

到達目標

活 動 及 び 成 果 指 標		単位	H25 実績値	H26 目標値	H26 実績値	H27 目標値	備考
活動成果	定住フェア等参加回数	回	2	4	4	4	
	空き家バンクの成約件数	件	2	6	4	8	